

新春例会 「松浦社長講演会」

1月16日 於 リーガロイヤルホテル京都

(有)日光電機製作所 今井

松浦社長のご講演のなかに、電気使用量による景気の状態、ここ一年使用量はだんだん上がってきており、今までの統計からすれば、景気は少し上り調子になってきてはいるが、単純に製造業も上り調子になってきたとは言えない。工場の使用量ではなく、パチンコ屋などのサービス業の使用量が増えてきているのではないか。やはり、従来型の製造業に明るさは見えない。多くの製造業は、安いコストを求め、発展する海外へのシフト、空洞化、低コスト化はさらに、強まる一方である。そんな中にも、他方動くものありで、福祉、環境、ITなど、いくつか具体例を紹介頂く。

また、自社例では、10年近く、“光+機械加工”を開発してきた。そして、この2つを融合させたマシンを、ナショナルと共同開発した。それは、かつてない、活気的ハイリードタイム生産、そして不可能を可能にする加工技術で、大変に支持を得ている。こんな融合の発想が、これからの時代に必要になると多くの企業に絶賛されているとの事でした。

これは、たまたまですが、皆様もぜひ、今の時代に合うすばらしいものを生み出して下さい。

現状維持=衰退です。研究開発型企业になって、新たな時代を切り開いて下さいとの事でした。

以上のお話を受け、我々は、まだ変われずにいる者は、言葉を失い、逆に変わっていったる者は、元気ハツラツの好対照でした。今後の、経営指針をどう持つべきか、大きく考えさせられました。

